



令和3年度久米島町地域おこし協力隊・集落支援員 について<概要>

学習センター講師

学習センターでの取り組み



中学学習支援員

私たちが目指す世界



町営寮ハウスマスター

ハウスマスターの仕事内容 ~寮生のサポート~

好奇心の育成
卒業後のキャリアのためのサポート

学びの伴走、進路相談
・地域活動、ボランティア
・プロジェクト、探究学習
・イベント、行事

生活の土台作り

日常生活支援
・健康管理
・共同生活内の調整
・寮生からの相談対応
・施設、備品管理

島ぐらしコンシェルジュ

活動内容②コロナ禍での情報発信



サンゴ保全・再生

サンゴを守るためには、サンゴのことを知ってもらうことが大切

- ・サンゴの冊子を作りました！
- ・ほんのりに寄贈
- ・電子図書館にもupされています



(公社)久米島地域振興協会
令和2年度地域活性化助成事業の助成を受けて作成しました

インバウンド振興

英語翻訳



☆久米島町地域おこし協力隊内訳(令和3年度末時点)

町営塾スタッフ	5人
町営寮運営スタッフ	3人
中学学習支援スタッフ	4人
島ぐらしコンシェルジュ	3人
サンゴ保全・再生プロジェクトスタッフ	1人
インバウンド振興スタッフ	1人
風の帰る森プロジェクトスタッフ ※R4.1に任期満了	
合 計	17人

☆集落支援員

2名

年度別協力隊数の推移

年度末時点

名 称	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
町営塾スタッフ	4	5	6	5	5	4	5
中学学習支援スタッフ		4	4	4	4	4	4
町営寮運営スタッフ		2	2	3	3	3	3
島ぐらしコンシェルジュ		3	3	3	3	3	3
観光振興スタッフ		1	1	1			
地産地消スタッフ			1				
風の帰る森スタッフ			2	2	2	1	
サンゴ保全・再生スタッフ					1	1	1
インバウンド振興スタッフ					1	1	1
合計	4	15	19	18	19	17	17

令和2年度地域おこし協力隊出身地別

東京都	5	神奈川県	1	千葉県	2	福岡県	1
大阪府	3	埼玉県	2	愛知県	3	計	17

「地域おこし協力隊」とは？



制度概要

都市地域から過疎地域に住民票を移動し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊」として委嘱しています。

隊員は一定期間、地域に居住して「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。

「集落支援員」とは？



制度概要

地域実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウ・知見を有した人材が、地方自治体からの委嘱を受け、市町村職員と連携し、集落への「目配り」として集落の巡回、状況把握等を実施するもの。

久米島町では、家庭菜園などであまった野菜を廃棄していて、島内循環を目的に取り組んでいます。

<町民の皆様へお願い>

地域おこし協力隊は、最長3年という期限の中で活動を行っています。

久米島で活動していく中で、島に知人・友人が増え、そして、地域おこし協力隊の任期が終わった後も久米島に残りたいと希望する方もいます。

そのためには、任期中に次の仕事を探したり、起業活動を行う方もいます。

「何か変なことを始めている」ではなくて 「島に残るため何か取り組んでいる」という温かい目でみてほしいです。

東洋一美しいと言われる「はての浜」



今後も久米島町地域おこし協力隊の活動へのご理解お願いしますm(_)_m